

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

1. 建物概要					
建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	(仮称)ホームセンタームサシ新 西区 小小白鳥東土地区画整理事業地18街区 二種住居地域 物販店, 2013年7月 予定 23,560.97 m ² 9,661.44 m ² 9,341.27 m ² 地上1F S造 実施設計段階評価 2013年2月15日				
2. CASBEE新潟の評価結果					
		B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{41}{32} = 1.2$		
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★					
3. 新潟市の重点項目の評価					
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	平均スコア 2.9		バリアフリー	Q2.1.1.3	3.0
			維持管理	Q2.1.3	3.0
			更新性	Q2.3.3	2.8
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	平均スコア 3.0		耐震・免震	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	3.0
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	平均スコア 3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.5		建物の熱負荷抑制	LR1.1	4.0
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 4.3		節水	LR2.1.1	3.0
			リサイクル材の使用	LR2.2.4	5.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	平均スコア 2.0		生物環境の保全・創出	Q3.1	1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	平均スコア 2.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	2.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0
4. 新潟市の重点項目の配慮事項					
省エネルギー性に配慮した設備機器の導入により、運用時の際のLCCO2排出量低減を図っている。 配置や色彩等まちなみに調和するよう配慮している。					

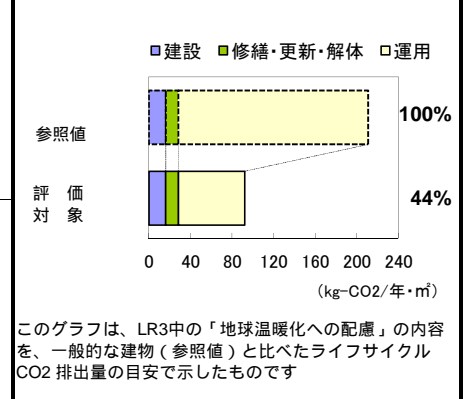
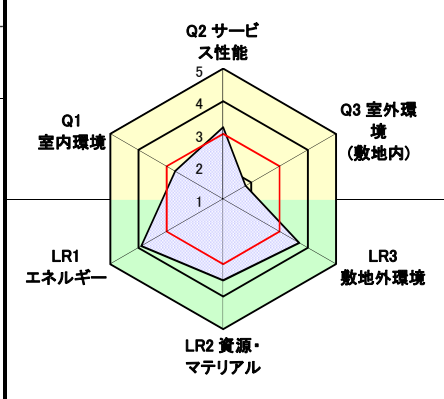
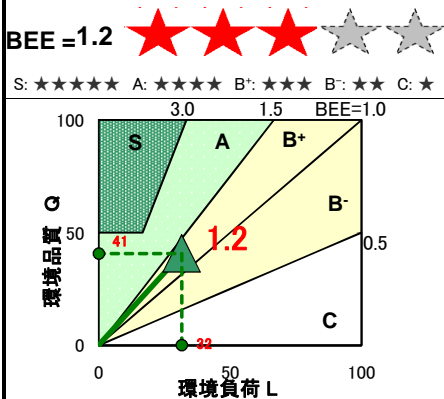
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE[®]新潟

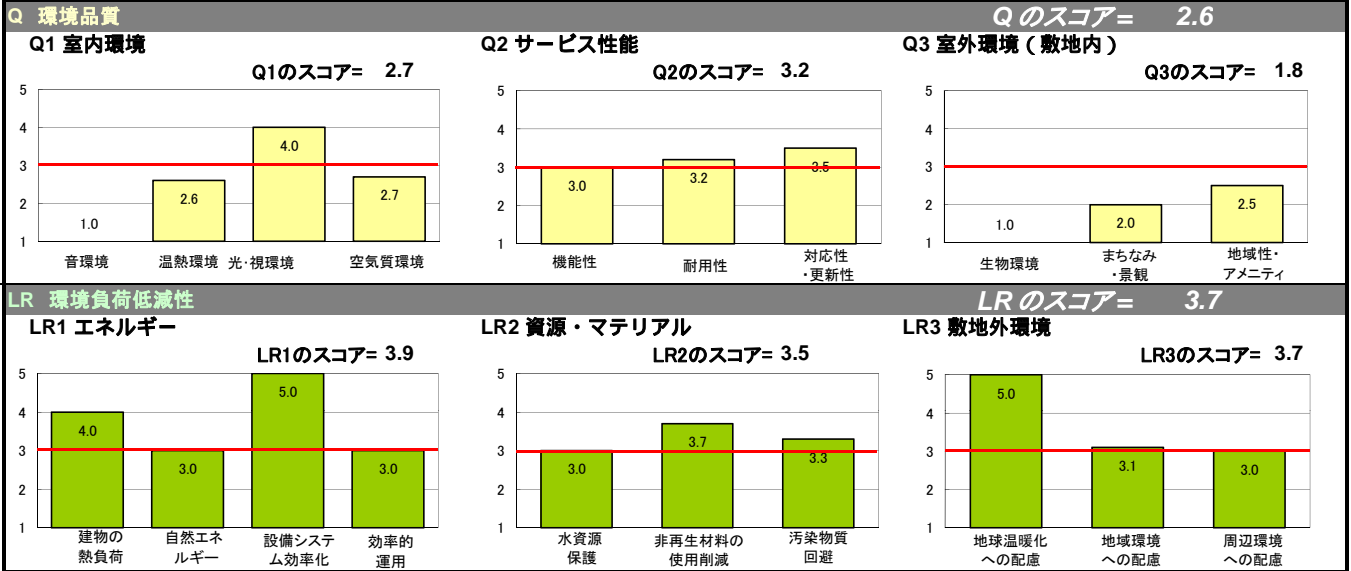
評価結果内訳

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル, CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) | **2-2 大項目の評価(レーダーチャート)** | **2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)**



2-4 中項目の評価(バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

総合 店舗を利用する人に対し、できる限り快適に利用して頂くよう配慮している。又、高効率設備を導入し、建物の省エネルギー化を図っている。	その他 特になし
Q1 室内環境 外皮に断熱材を使用することにより、室内への熱の侵入に対する配慮。又、売場禁煙等、空気質環境に配慮している。	Q2 サービス性能 高齢者、障害者に配慮した設計を行っている(バリアフリー条例)。配管材は耐用年数の長いものを選定し、長寿命化を図る。
LR1 エネルギー 高効率設備機器の導入をし、省エネ化を図っている。	LR2 資源・マテリアル 節水コマや自動水栓、節水型器具を採用し水資源の節水化を図っている。
	LR3 敷地外環境 高効率設備を導入し、運用段階のCO ₂ 排出量(ERR)を削減し温暖化について配慮している。駐車スペースを確保している。
	Q3 室外環境(敷地内) 配置や色彩等まちなみに調和するよう配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される